

市民文芸

短歌

令和七年度第五十四回
阿南市春季短歌大会 選

特選

日溜まりのベンチにひとり座りたし膝に小さきこ
とば降るかも 郡 雅和

その昔なんと私は山ガールアルプス制覇のピース
の写真 萩原 福子

入選

引越しは十回以上と言う義母がこれで最後と微笑
む二月 校條亜希子

吹き留まる落葉は溝に寄り添いて介護施設の一角
の如 吉永賀代子

汀にて春のほひの貝ひろふ秘かに放つさくらの
光 喜来富士子

寒の夜布団に入れば湯たんぽが 足で動かし温暖
地開拓 安本 生美

生き方を見直す機会と断捨離し空いたスペース心
を埋める 福岡 由美

手押し車間にはさみ立ち話「度忘れ多いね」「あ
なたはどうね」 福島 朝代

神様のボートは進むすべらかに毬藻のねむり妨げ
ぬやう 松尾 初夏

認知症になりたる柴犬十七歳娘は職辞して看取る
と言いつし 棚野 久子

完熟のトマトをくれし美佐ちゃんの畑は鎮まり野
菊の二本 小西 千恵

恋の日よギンガムチェックのスカートをふわり下
ろした蒼い草の芽 松島 博子

俳句

阿南市俳句連合会 選

涼み台将棋をしてる父と兄

天道虫好む葉つばは網状に

跡継ぎにまかせて田植整然と

お目当の山鉾粽売り切れて

箒目の揃ふ寺苑の庭涼し

亡き夫に供える百合が姉と来る

助手席の土用鰻の匂ひけり

雲の下雲流れ行く浜の夏

すやすやと天真爛漫昼寝の子

射干や笑顔で踊るチャールストン

多田紀久代

岡本 隆子

鎌田 黄鳥

中富はるか

石井 政子

廣浦 保子

中川よし子

東 良子

森 伸

神野千鶴子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

阿波踊

汗迸欣欣好漢跳

嬋娟隱笠指端搖

笛聲賑處乘佳興

八月阿波亂舞宵

山川 治

汗は迸る 欣々 好漢跳る

嬋娟 笠に隠れて指端揺れる

笛声 賑な処 佳興は乗る

八月 阿波 乱舞の宵

初秋即事

四邊洒暑雨初收

忽地涼生蟲語幽

相倚簾旌邀夜月

一痕澹挂照新秋

増喜 泰典

四邊 暑を洒ぐ 雨初めて収まり

忽地 涼生じ虫語幽なり

簾旌に相倚り夜月を邀えば

一痕 澹く挂かり新秋を照らす

川柳

阿南川柳会 選

負けないぞ卒寿を越えて白寿まで

たつぶりの小言を余所に元氣です

物価高予定の旅行すぐ却下

還暦の娘とハモる八代重紀

たつぷりと溜めた脂肪と別れたい

天国へ行く予定ですこの人と

善悪の判断できる耳である

西田 修身

野村 敏子

佐藤つたえ

鈴木レイ子

篠原 良子

多田紀久代

渡邊ろまん

新秋夜坐

孤蛩唧唧入新秋

金気寥寥一片悠

人坐讀書殘暑退

西風滿地月光流

荒瀬左知子

孤蛩 唧唧 新秋に入る

金気 寥寥 一片の悠

人は坐して 読書す 残暑退く

西風滿地 月光流る

一般応募

池に映る雲に乗ったか水すまし

餌せがみ子燕梁に鳴き止まず

早朝のBGMは蟬の声

島尾美津子

泰地 重美

武田 敏子

